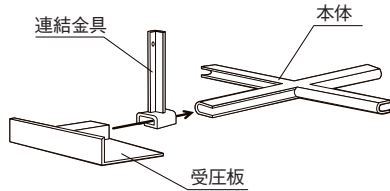


ジュポールベース(JB) 施工手順

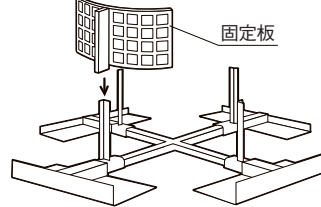
特殊な工具は一切必要ありません。ラチェットレンチ1本(サイズ17-19)、プラスチックハンマー等で施工完了!

JB-0. 1

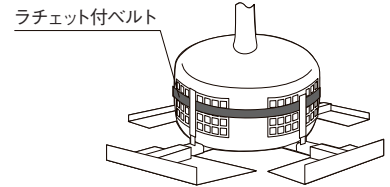
1 本体に連結金具を通し、受圧板を差込む。



2 根鉢の高さに合わせ、連結金具に固定板を差込む。



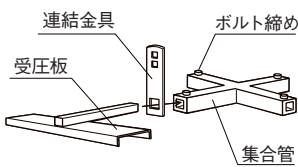
3 樹木をセット。連結金具をスライドさせ根鉢にフィットさせる。周囲をラチェット付ベルトで締め込み、施工完了。



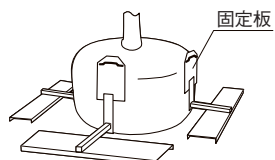
[増縮管理] 根鉢側面を締め込んだラチェット付ベルトのラチェットの位置をGレベルに記してください。増縮の際はその部分を掘り、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで締めてください。

JB-2. 3. 4 ※イラストはJB-2の場合です。 ※JB-4の固定板形状及び取付方法は、JB-5.6.7と同様となります。

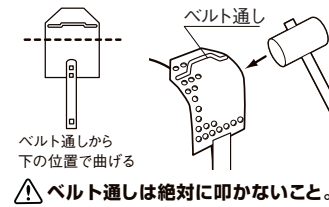
1 受圧板に連結金具を差込み、集合管に挿入する。受圧板はボルト締めにて固定する。



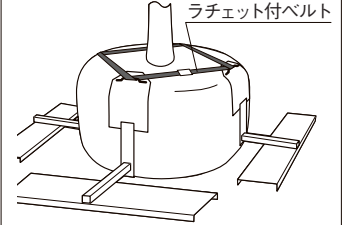
2 1の上に樹木をセットする。根鉢の高さに合わせて固定板を調整する。固定板の半分が根鉢の肩より上部にくるように取付ける。



3 根鉢の肩にフィットさせ、ハンマーで固定板の面を根鉢との隙間がなくなるまで叩いて根鉢になじませる。



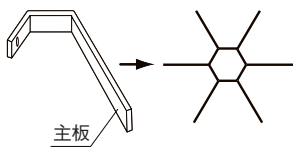
4 固定板にラチェット付ベルトを通し、根鉢を締め込み、施工完了。



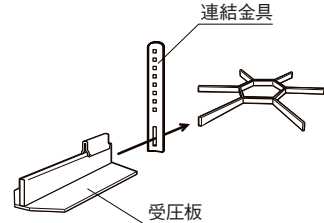
[増縮管理] 根鉢上にラチェット付ベルトがあるため、その部分の土もしくは植物を移動し、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで、増縮してください。本施工の時にラチェットの巻きしろを少なくするため、余分なベルトは切ってから締めてください。

JB-5. 6. 7 ※イラストはJB-6の場合です。

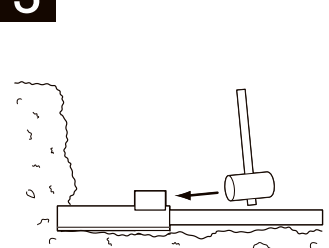
1 主板を組立てる。



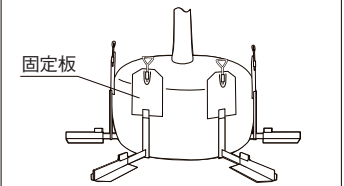
2 主板に連結金具と受圧板を通す。



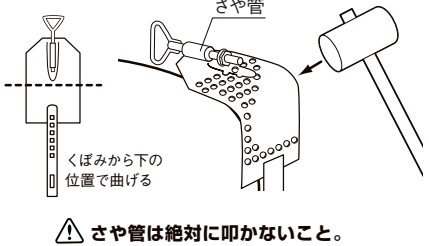
3 受圧板を側壁へ打込む。



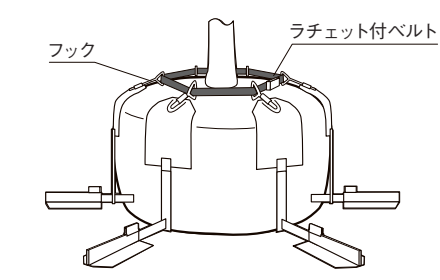
4 3の上に樹木をセットする。根鉢の高さに合わせて固定板を調整する。固定板の半分(フックボルト)が根鉢の肩より上部にくるように取付ける。



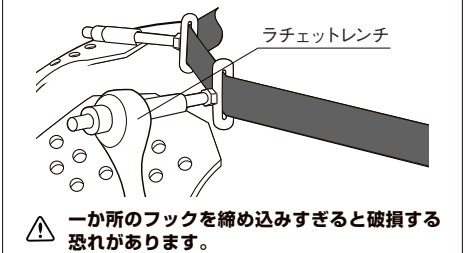
5 根鉢の肩にフィットさせ、ハンマーで固定板の面を根鉢との隙間がなくなるまで叩いて根鉢になじませる。



6 ラチェット付ベルトをフックに通し、ベルトを締め込む。



7 ベルトが動かなくなるまで、フックのナットをラチェットレンチで徐々に締め込み、施工完了。



[増縮管理] 根鉢上に7のような増縮用のナットがついています。このナットを出し、ラチェットレンチで増縮してください。このナットの巻きしろが無くなったときは、6ラチェット付ベルトを外しナットの巻きしろを戻してから再度ベルトを締めて固定し、それ以上締まらなくなるまで増縮してください。

[増縮回数目安]

●1回目: 水極め終了後、水が完全に引いてから(半日~1日経過後) ※雨天時は翌日 ●2回目: お引渡し前 ●3回目: 台風シーズン前(7月) ●4回目: 台風シーズン後(9月末)

※製品改良のため仕様その他を予告なく変更する場合があります。 ※本製品は本来の目的以外には使用しないでください。

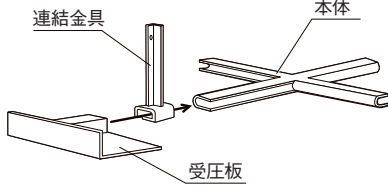
ジュポールベース(JB) 施工手順

根鉢押えメッシュ付

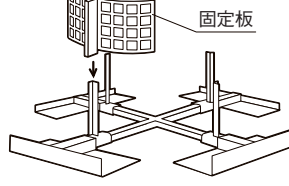
特殊な工具は一切必要ありません。ラチェットレンチ1本(サイズ17-19)、プラスチックハンマー等で施工完了!

JB-0. 1

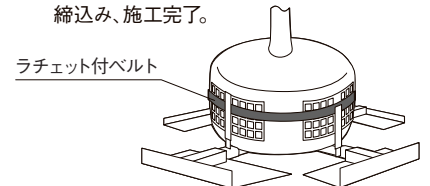
1 本体に連結金具を通し、受圧板を差込む。



2 根鉢の高さに合わせ、連結金具に固定板を差込む。



3 樹木をセット。連結金具をスライドさせ根鉢にフィットさせる。周囲をラチェット付ベルトで締め込み、施工完了。



[増締管理] 根鉢側面を締め込んだラチェット付ベルトのラチェットの位置をGレベルに記してください。増締の際はその部分を掘り、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで締めてください。

JB-2. 3. 4 ※イラストはJB-2の場合です。 ※JB-4の固定板形状及び取付方法は、JB-5.6.7と同様となります。

1

連結金具、側面メッシュ、受圧板、ボルト締め、集合管

受圧板に連結金具を差込み、集合管に挿入する。受圧板はボルト締めにて固定する。

2

固定板

1の上に樹木をセットする。根鉢の高さに合わせて固定板を調整する。固定板の半分が根鉢の肩より上部にくるように取付ける。

3 ⚠️ ベルト通しは絶対に叩かないこと。

ベルト通し

ベルト通しから下の位置で曲げる

根鉢の肩にフィットさせ、ハンマーで固定板の面を根鉢との隙間がなくなるまで叩いて根鉢になじませる。

4

ラチェット付ベルト

固定板にラチェット付ベルトを通し、根鉢を締め込み、メッシュ上にラチェット付ベルトを巻いて締め込み、施工完了。

[増締管理] 根鉢上にラチェット付ベルトがあるため、その部分の土もしくは植物を移動し、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで、増締してください。本施工の時にラチェットの巻きしろを少なくするため、余分なベルトは切ってから締めてください。

JB-5. 6. 7 ※イラストはJB-6の場合です。

1

主板

主板を組立てる。

2

連結金具、受圧板

主板に連結金具と受圧板を通す。

3

受圧板を側壁へ打込む。

4

固定板

3の上に樹木をセットする。根鉢の高さに合わせて固定板を調整する。固定板の半分(フックボルト)が根鉢の肩より上部にくるように取付ける。

5 ⚠️ さや管は絶対に叩かないこと。

さや管

くぼみから下の位置で曲げる

根鉢の肩にフィットさせ、ハンマーで固定板の面を根鉢との隙間がなくなるまで叩いて根鉢になじませる。

6

ラチェット付ベルト、フック

ラチェット付ベルトをフックに通し、ベルトを締め込む。

7

ラチェット付ベルト

メッシュ上にラチェット付ベルトを巻いて締め込む。

8 ⚠️ 一か所のフックを締め込みすぎると破損する恐れがあります。

ラチェットレンチ

ベルトが動かなくなるまで、フックのナットをラチェットレンチで徐々に締め込み、施工完了。

[増締管理] 根鉢上に**8**のような増締め用のナットがついています。このナットを出し、ラチェットレンチで増締してください。このナットの巻きしろが無くなったときは、**7**ラチェット付ベルトを外しナットの巻きしろを戻してから再度ベルトを締めて固定し、それ以上締まらなくなるまで増締してください。

[増締回数目安]

●1 回目: 水極め終了後、水が完全に引いてから(半日~1日経過後)※雨天時は翌日 ●2 回目: お引渡し前 ●3 回目: 台風シーズン前(7月) ●4 回目: 台風シーズン後(9月末)

JB-M 施工手順

1

鋼線受圧板
600×600×30

1m×1m×根鉢の高さの穴を掘削し、鋼線受圧板を穴底に設置する。

2 ⚠️ 切れ込みを入れる際は、端から余白を約20cm残してください。

① 半分に折る。 ② さらに半分に折る。

③ カッター等で切る。 ④ 切り口から残りの2辺を切る。

1m×1mの受圧シートを折り畳み、中心に十字の切れ込みを入れる。

3

受圧シート
鋼線受圧板
根鉢

鋼線受圧板の上に受圧シートを敷設し、その上に樹木を設置する。

4 ⚠️ 鋼線根鉢固定の取付け間隔は、なるべく均等にしてください。鋼線根鉢固定の正しい取付方法

受圧シート
鋼線受圧板
鋼線根鉢固定

受圧シートをめくり、鋼線根鉢固定を鋼線受圧板に設置する。

両方のフックを格子の対角にかける。

① 格子の対角に鋼線根鉢固定を入れる。

② そのまま下に差し込む。

③ 鋼線根鉢固定の先端が鋼線受圧板の下にきたら少し手前に出す。

④ 鋼線受圧板にかかるように引き上げる。

⑤ 鋼線受圧板にしっかりと固定する。

鋼線根鉢固定の誤った取付方法

✗ 格子に平行にかける。

✗ 片方だけかける。

5 ⚠️ ラチェットベルトを通す際は必ず鋼線根鉢固定上部に通してください。根鉢回転防止フックにはかけないでください。

鋼線根鉢固定上部
ラチェットベルト
根鉢回転防止フック

鋼線根鉢固定上部にラチェットベルトを通し締めこむ。

⚠️ 根鉢径がφ200以下の場合には根鉢側面にラチェットベルトを締めこんでください。

6

ラチェットベルトを締めこむ際に根鉢回転防止フックをプラスチックハンマーで叩き、根鉢に食い込ませる。

根鉢回転防止フック

7

根鉢回転防止フックが根鉢に食い込むまでラチェットベルトを締める。

8

受圧シート

受圧シートがめくりあがらないように土を埋め戻し、施工完了。

【増締管理】 根鉢上にラチェット付ベルトがあるため、その部分の土もしくは植物を移動し、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで、増締してください。本施工の時にラチェットの巻きしろを少なくするため、余分なベルトは切ってから締めてください。

【増締回数目安】

●1 回目：水極め終了後、水が完全に引いてから(半日～1日経過後)※雨天時は翌日 ●2 回目：お引渡し前 ●3 回目：台風シーズン前(7月) ●4 回目：台風シーズン後(9月末)

※製品改良のため仕様その他を予告なく変更する場合があります。※本製品は本来の目的以外には使用しないでください。

2023.03.30-03